

龍馬チャレンジハイク

趣 旨 偉業を残した先人の足跡を訪ね、霧島の豊かな自然を探訪する中で、心身のリフレッシュを図る。

日 程

(1) スーパーチャレンジコース (6 時間)

- 10:00 塩浸温泉龍馬公園出発
- 10:05 龍馬の散歩道
- 12:00 和気神社着(昼食)
- 12:30 和気神社発
- 14:00 中津川郵便局
- 15:00 母ヶ野分岐
- 16:00 霧島自然ふれあいセンター着

(2) チャレンジコース (4 時間)

和気神社 → 中津川地区 → 中津川郵便局 → 母ヶ野 → ふれあいセンター

(3) 龍馬の散歩道コース(2 時間)

塩浸温泉龍馬公園 → 龍馬の散歩道 → 和気神社

※ オプション：和気神社～犬飼の滝遊歩道～和気神社 (1時間)



坂本龍馬は、慶応2(1866)年3月、西郷隆盛らのすすめで、妻のお龍(りょう)とともに、塩浸温泉(霧島市牧園町)で傷をいやしながら長い間滞在しました。

連 絡 荒天時の態度決定、ハイク開始時及び終了時、緊急事態発生時に連絡

危険箇所 ・ 山道では、木の根やコケ等に注意する。
 ・ 和気神社からふれあいセンターを歩く場合は、事前に道路使用の許可が必要。手続きについては横川警察署(0995-72-0110、交通安全指導課)へ連絡する。

無線交信可能地点

ルート上は無線交信できる。

留意事項

- (1) 引率指導者の指示を守る。
- (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
- (3) 体力に応じた歩行ペースと休憩をとる。
- (4) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
- (5) 自然を大切にす。
- (6) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

- ・ 龍馬の散歩道 (約4km)
 坂本龍馬夫妻が合計17泊したとされる塩浸温泉と和気神社の間の山間部を歩くルート。最近「龍馬の散歩道」として新しく整備された。林道を歩くことになるが、急な坂道や危険な箇所は少なく、方向を示す看板等も整備されつつあり、安全に歩けるように配慮されている。
- ・ 和気神社～中津川郵便局 (5km)
 和気清麻呂(わけのきよまろ)公を祀ってある和気神社から中津川地区を中津川郵便局まで歩く全5kmのルート。実際に坂本龍馬と妻お龍が歩いたとされる道で、のどかな田園地帯や河川敷を通りながらゆっくりとした時間を堪能できる。途中、霧島連山を一望できる場所もあり、豊かな自然を楽しめる。
- ・ 中津川郵便局～母ヶ野分かれ～ふれあいセンター (5.5km)
 急な上り道が母ヶ野分かれまで約3kmほど続く。坂本龍馬夫妻は、ここから右に進んだと言われている。ふれあいセンターへは、左に進む。
- ・ 犬飼の滝遊歩道 (往復2km)
 和気神社から真下に降りる遊歩道。高さ36m、幅21.8mの見事な犬飼の滝の瀑布を見学することができる。

龍馬チャレンジハイクコース図

